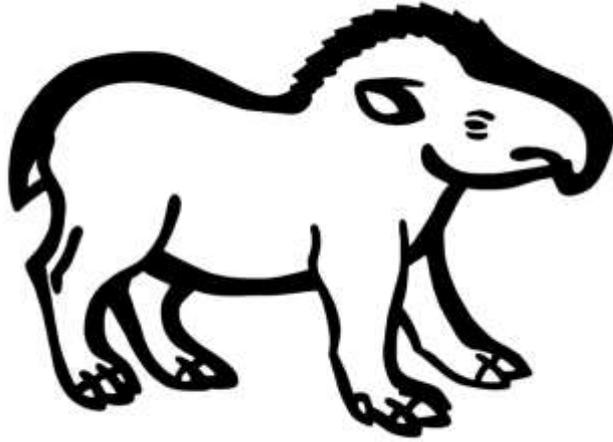


## ポラリスコーヒーの動物達



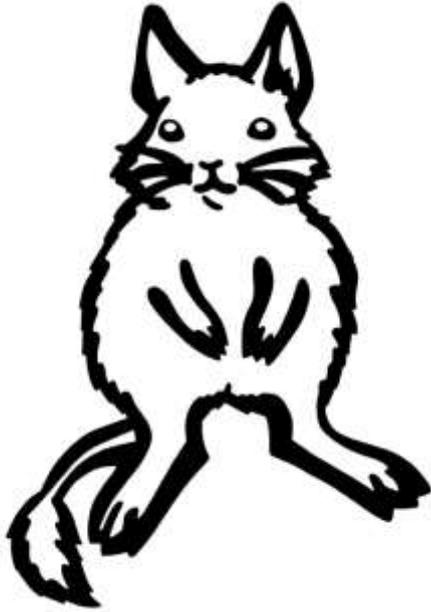
### アメリカバク(奇蹄目バク科)

姿は似ていないがウマやサイの遠い親戚。水辺に近い森林や湿地に生息しており、水に浸かって過ごすのが好き。天敵のジャガーなどに襲われると水中に逃げ込む。夢を食べる幻獣としてのイメージが強いが、実際に食べているのは植物。産まれたばかりの子供の体には白い縞模様があり、これは生後半年を過ぎると徐々に消えていく。



### アンデスコンドル(タカ目コンドル科)

飛べる鳥の中では世界最大級の大きさで、広げた翼を端から端まで測ると 3 メートルにもなる。自分で生きた獲物を捕らえることはなく、死肉を食べる。巣の周りでの行動範囲は広く、そうした死肉を探して 1 日に 250 キロ移動することもある。頭が禿げているのはアフリカやアジアに生息しているハゲワシの仲間と同じく、死肉を食べる際頭に付いた雑菌を乾燥させ、紫外線で消毒するのに役立つからと言われている。



デグー(齧歯目デグー科)

ゴールデンハムスターよりも一回りから二回りほど大きいネズミの仲間、日本でもペットとして出回っている。知能が高く、個体によっては簡単な芸を覚えるものも居る。野生では小規模の群れで暮らしているため、ペットとして飼うときは複数で飼うか、一匹で飼う場合は適度なコミュニケーションをとるようにしながら育てると良いとされている。



リャマ(鯨偶蹄目ラクダ科)

アンデス地方で家畜として飼われている動物で、荷物の運搬をするのに重宝されている。コブは

ないがラクダの仲間で、ラクダ同様怒ると胃の内容物を吹きかけてくることがあるが基本的には大人しい。また見た目は最近日本で人気があるアルパカに似ているが、ラマの祖先はグアナコ、アルパカの祖先はビクーニャと、両者とも違う祖先を持つ動物と考えられている。



#### フタユビナマケモノ(有毛目フタユビナマケモノ科)

名前の通り前脚の指が2本なのが特徴。1日の睡眠時間は15時間~18時間と言われており、夜になると活動を始める。ナマケモノの仲間は普段は植物を食べるがこのフタユビナマケモノは雑食性で、ときに鳥の卵や昆虫も食べることがある。基本的には木の上で過ごしているが実は泳ぐのが得意で、川を泳いで移動することもある。